

【募集内容】

職種	採用予定人員	職務内容	受験資格
診療放射線技師	1人	市立病院において放射線などの取り扱い業務に従事します。	昭和50年4月2日以降に生まれた人で、当該資格免許を有する人、または平成18年4月30日までに資格を取得する見込みがあり、5月1日から勤務できる人。

【試験方法】

試験区分	方法
作文試験(1時間)	文章による表現力、判断力、思考力などについて作文による筆記試験
人物試験	個別面接による試験
健康診断	健康診断に基づいて職務遂行に必要な健康度を有するか審査
資格調査	受験資格の有無、申込書記載事項の真否などについて調査

【試験日時・場所】 3月20日(月)

午前10時～市立佐沼病院 応接室

【試験合格者の発表】 3月30日(木)

市役所庁舎前掲示板への掲示と、合格者に郵送で通知します。

【申込書の請求】 申込書は医療管理課に請求してください。

郵便で請求する場合は封筒の表に、「職員採用試験申込書請求」と朱書きし、あて先を明記して120円切手を貼った返信用封筒を必ず同封してください。

【受付期間】

2月21日(火)～3月10日(金)

【申し込み・問い合わせ】

〒987-0511
登米市町野佐沼字下田中25番地
登米市医療局医療管理課
☎0220 (21) 6888



麻しん・風しんの予防接種はお済みですか？

平成18年4月1日から、麻しん・風しんの予防接種が単独ワクチンから混合ワクチンとなり、対象者も変わります。変更前の制度で対象になっている人は、3月31日までに接種を済ませましょう。

変更前(3月31日まで)

麻しん予防接種
生後12カ月～90カ月
1回接種

風しん予防接種
生後12カ月～90カ月
1回接種

変更

変更後(4月1日から)

麻しん・風しん予防接種
(混合ワクチン)

【1期】
生後12カ月～24カ月
【2期】
小学校就学前の1年間

◆平成10年10月2日～平成16年4月1日生まれの人

麻しん、風しんの予防接種を受けていない場合は、3月31日までにどちらも接種を済ませてください。

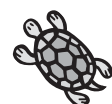
◆平成16年4月2日～平成17年2月28日生まれの人

麻しん、風しんの予防接種を受けていない場合は、3月31日までにどちらも接種を済ませてください。なお、どちらも受けておらず、どちらもおかかったことがない場合には、4月1日以降2歳の誕生日を迎える前日まで、新制度による麻しん風しん混合ワクチンを接種することもできますが、感染前に接種することが大切です。早めに接種しましょう。

◆平成17年3月1日生まれ以降の人

4月1日以降の新制度による麻しん・風しん混合ワクチンを受けてください。

【問い合わせ】 市民生活部健康推進課 ☎0220 (58) 2116



ミドリガメなどの「は虫類」に触れた後は、しっかりと手洗いをしましょう。

ミドリガメに触れたことが原因で、子どもが重いサルモネラ症にかかる例が、昭和50年以降全国で少なくとも7件発生しています。ミドリガメなどは虫類に触れた後は、必ず十分な手洗いをしましょう。

市民生活部健康推進課

米山体育センター使用再開のお知らせ

ステージとアリーナ天井に使用されている張り付けロックウールの露出部分にアスベスト(石綿)が含まれていたため、平成17年8月から閉鎖していましたが、石綿環境測定(空気中への飛散状況調査)の結果、飛散の無いことが確認されたため、2月から使用を再開しました。

ただし、アスベストを含む建材が存在する状況には変わりないため、今後できるだけ早い時期に全面撤去工事を実施する予定です。

【問い合わせ】 教育委員会体育振興課 ☎0220 (34) 2649

早めに済ませましょう

申告



込み合う前に早めに申告をしましょう

2月8日から市県民税・国民健康保険税・介護保険料・所得税の申告相談が始まりました。例年、日程終盤に近づくとき非常に込み合いますので、各行政区の割当日に申告することを勧めます。割当日に申告できない人は、早めに済ませましょう。

なお、必要書類を忘れ自宅へ戻る人が多く見られます。早い時間に会場へ来て、途中で戻ると順番が後に回ってしまいます。申告会場へ出かける前に、各種経費の領収証や源泉徴収票など、必要書類を確認しましょう。

申告相談についての問い合わせは税務課市民税係(☎0220(22)2163)まで

□介護保険課からのお知らせ
要介護者の申告時に必要な書類の主なものは次のとおりです。

◆障害者控除対象者認定書
各総合支所または介護保険課で発行します。手数料はかかりません。

◆おむつ使用証明書
1年目は医師の証明書が必要で、用紙は、各総合支所に用意しています。

2年目以降は、各総合支所または介護保険課で発行します。その際手数料300円がかかります。

詳しくは市民生活部介護保険課(☎0220(58)2117)まで

介護予防事業で東北文化学園大学と連携協力の覚書を交わす



握手を交わす高坂学長(左)と布施市長

平成18年度から介護予防事業を実施するため、東北文化学園大学(高坂知節学長)との連携協力についての覚書が、1月13日取り交わされました。

この事業は、転倒予防、閉じこもり予防、低栄養予防事業などを通し、高齢者一人一人が自立し、元気でいきいきと活動できる「元気高齢者」を増やすことを目的に実施するものです。

これまでも、平成15年から旧米山町で同大学と連携し、転倒予防事業を展開してきました。

18年度から3年間、主に次の調査、事業について連携協力をしていきます。



米山地区で開催されたいきいき定例会

- 高齢者実態調査
・年齢階層別に市民約4400人を無作為に抽出し調査を実施。
※健康状態、生活習慣、生活体力、交流頻度など
- 元気高齢者事業
・高齢者健康診査の中で体力測定を実施
※初年度は米山、南方、石越の3支所
・結果報告会
・リーダーの養成
・定例おたのしみ会「和・話・輪の会」開催